

令和元年7月末現在の全運転管理者等選任事業所の交通事故発生状況

- 1 本資料は、千葉県内で発生した安全運転管理者選任事業所、又は運転代行業（以下「安管事業所」といいます。）の従業員が業務中又は通勤中に関係した人身事故を抽出・分析したものです。物件事故（人の死傷を伴わない事故）の数値は含まれていません。
- 2 本資料には、他県の安管事業所の従業員が起こした事故の数値が含まれていますが、本県の安管事業所の従業員が他県で起こした事故の数値は含まれていません。

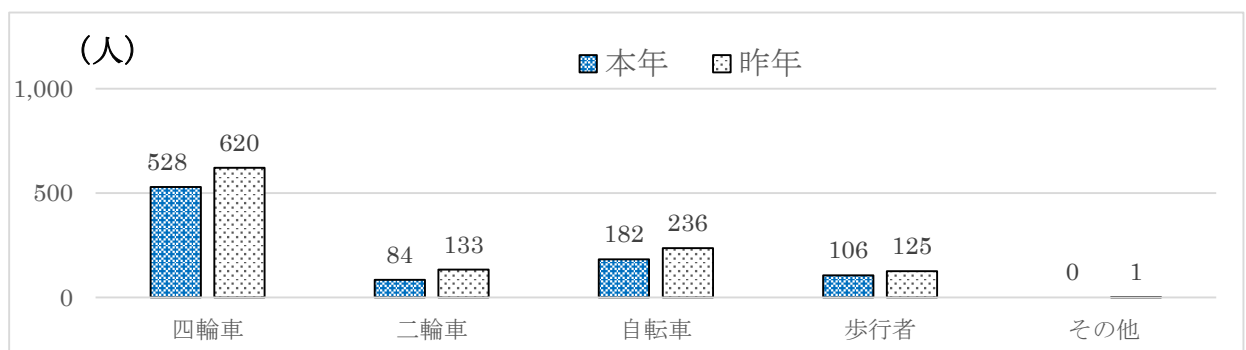
1 県内の発生状況

		7月中				累 計			
		本年	昨年	増減数	増減率	本年	昨年	増減数	増減率
発生件数		100	125	-25	-20.0	747	931	-184	-19.8
昼	日の出1時間後	0	2	-2	-100.0	33	53	-20	-37.7
	その他昼	81	97	-16	-16.5	488	614	-126	-20.5
	日の入1時間前	7	10	-3	-30.0	50	57	-7	-12.3
	昼計	88	109	-21	-19.3	571	724	-153	-21.1
夜	日の入1時間後	8	3	5	166.7	67	71	-4	-5.6
	その他夜	4	13	-9	-69.2	96	123	-27	-22.0
	日の出1時間前	0	0	0	0.0	13	13	0	0.0
	夜計	12	16	-4	-25.0	176	207	-31	-15.0
死者数		1	0	1	100.0	9	10	-1	-10.0
負傷者数		120	151	-31	-20.5	891	1,105	-214	-19.4
重傷者数		6	13	-7	-53.8	50	86	-36	-41.9
軽傷者数		114	138	-24	-17.4	841	1,019	-178	-17.5

○ 概略

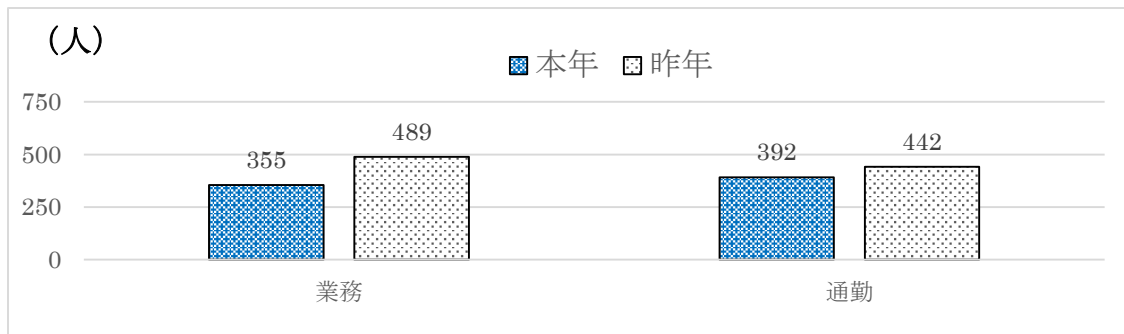
7月末現在における安管選任事業所従業員に係る交通事故は、昨年同期に比べ発生件数がマイナス19.8パーセント、負傷者数がマイナス19.4パーセントとなり大幅に減少しています。また、7月末現在の死者数は9人と、昨年同期と比べ1人減少していますが、死亡事故の発生率（83件に1件）は、むしろ昨年の発生率（93件に1件）より高く、依然として厳しい状況にあり、死亡事故9件中6件が高齢者被害に係る事故であることから、本年も引き続き高齢者に対する思いやり運転に心がけてください。

2 死傷者の状態別



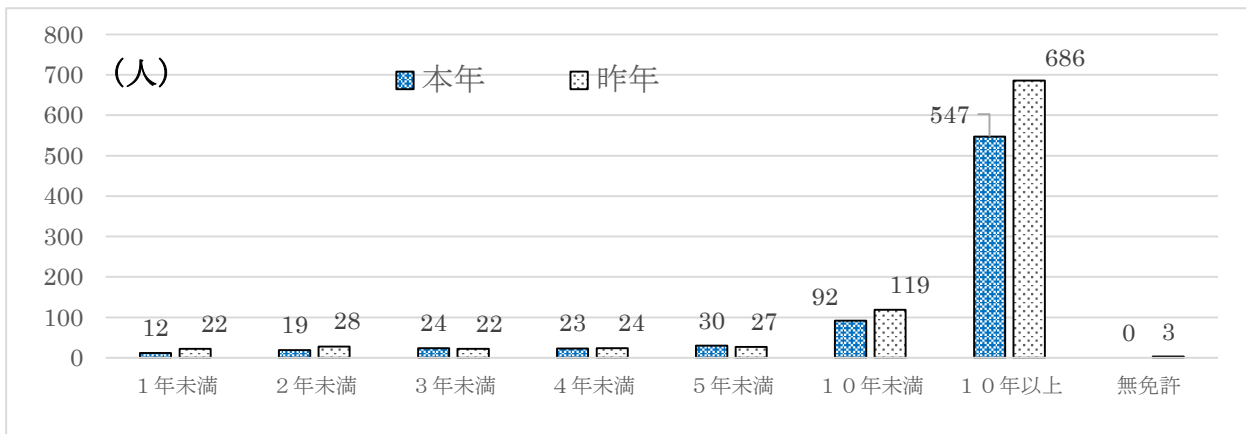
- 死傷者の状態別では、四輪車乗車中が最も多く528人（58.7%、昨年比-92人）、次いで自転車乗車中が182人（20.2%、昨年比-54人）となっています。

3 第1当事者の運行目的



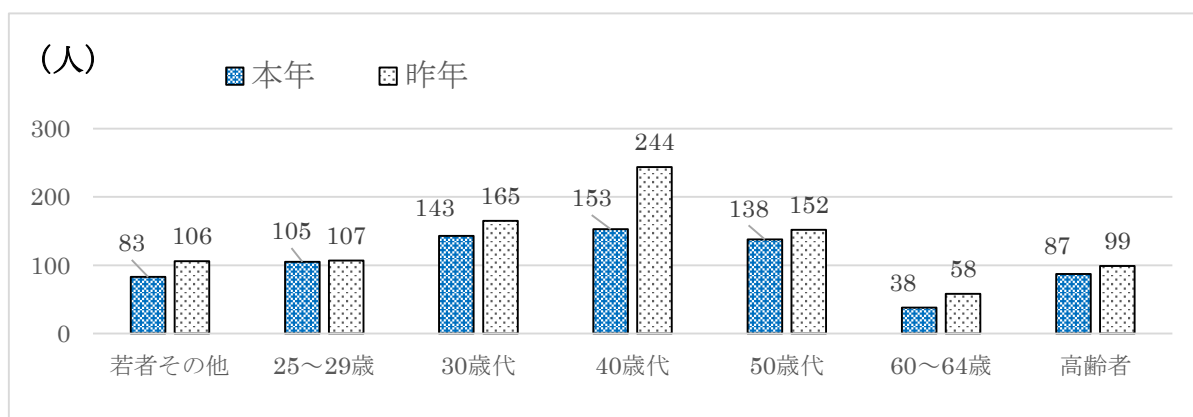
- 第1当事者の運行目的は、業務中が355人(47.5%、昨年比-134人)と大幅に減少した半面、通勤途中が392人(52.5%、同一-50人)と本年はその比率が逆転しています。通勤中の事故を防止するため、余裕を持った出勤、スピードの出やすい裏通りは避けるなど、通勤経路の見直しも検討して下さい。

4 第1当事者の免許経験年数



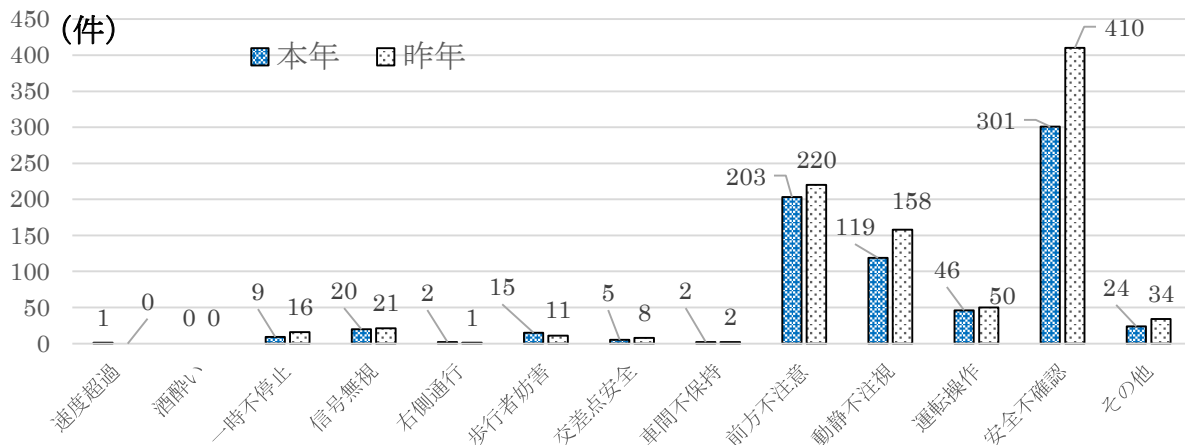
- 第1当事者の免許取得経過年数別では、経過年数10年以上の者が547人(73.2%、昨年比-139人)と最も多く、次いで5年以上10年未満の者が92人(12.3%、同一-27人)でした。1年未満から5年未満の者の合計は108人(14.5%、同一-15人)でした。運転経験の少ない従業員に対する安全教育はもとより、ベテラン従業員に対してもきめ細かい安全教育が必要です。

5 第1当事者の年齢層



- 第1当事者は40歳代153人(20.5%)、30歳代143人(19.1%)、50歳代138人(18.5%)の順となっており、65歳以上の高齢者は87人(11.7%)と全体に占める構成率こそ低いものの、雇用の絶対数から考えれば、高齢者が第1当事者になる比率は高いと言えます。

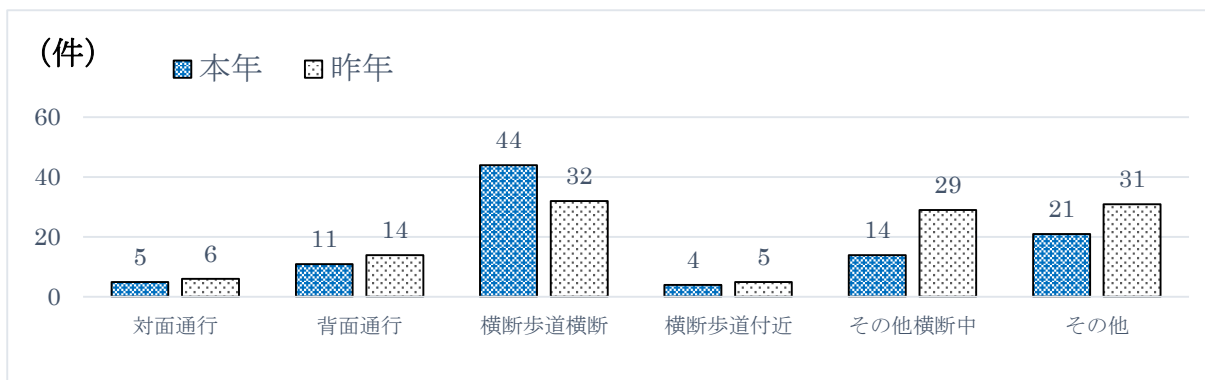
6 第1当事者の違反・原因別



○ 事故原因は、前方不注意、動静不注意、運転操作不適、安全不確認などの安全運転義務違反が計 669 件で事故原因の 89.6%を占めています。

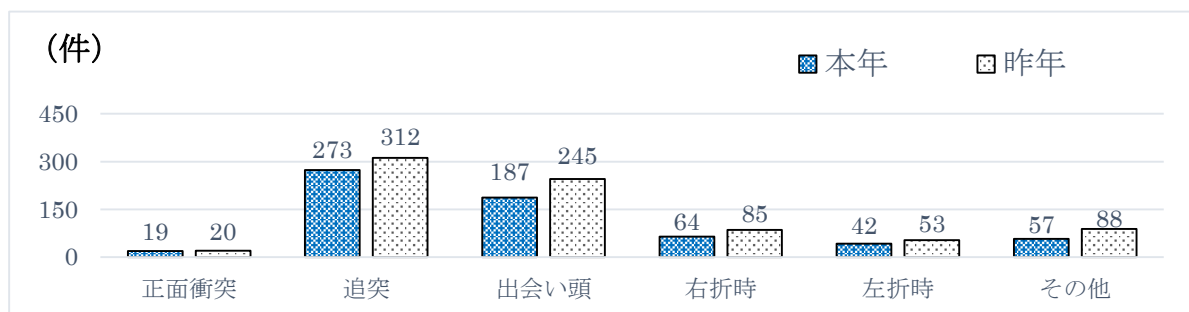
7 事故類型

(1) 人対車両 (計 99 件)



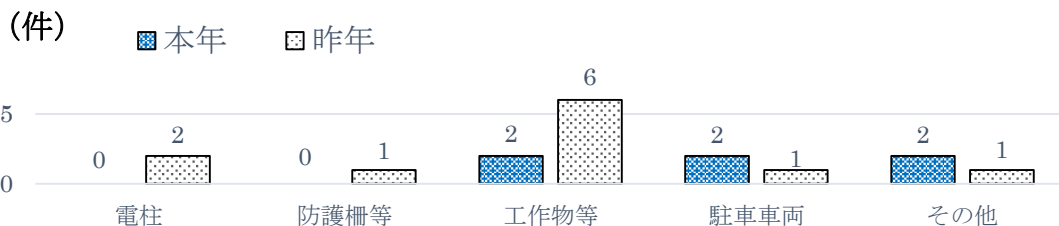
○ 横断歩道横断中の事故が 44 件、+12 件と増加しています。また、横断中（横断歩道及びその付近、その他横断中）の事故は計 62 件で、人対車両の事故の 62.6%を占めています。人対車両の事故は重傷事故に発展する可能性が高いので、ゼブラストップ運動（横断歩道における歩行者優先）の推進をお願いします。

(2) 車両相互 (計 642 件)



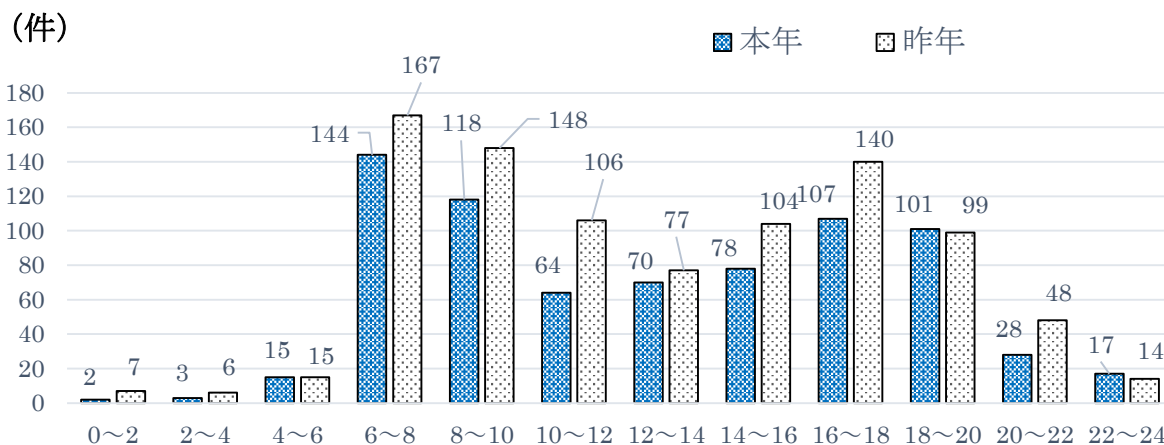
○ 追突の 273 件 (36.6%、昨年比-39 件) が最も多く、事故類型の 3 分の 1 以上を占めています。次に多いのが出会い頭の 187 件 (25.0%、同-58 件) です。出会い頭事故は重大事故に発展する可能性が高いので注意して下さい。

(3) 車両単独 (1件)



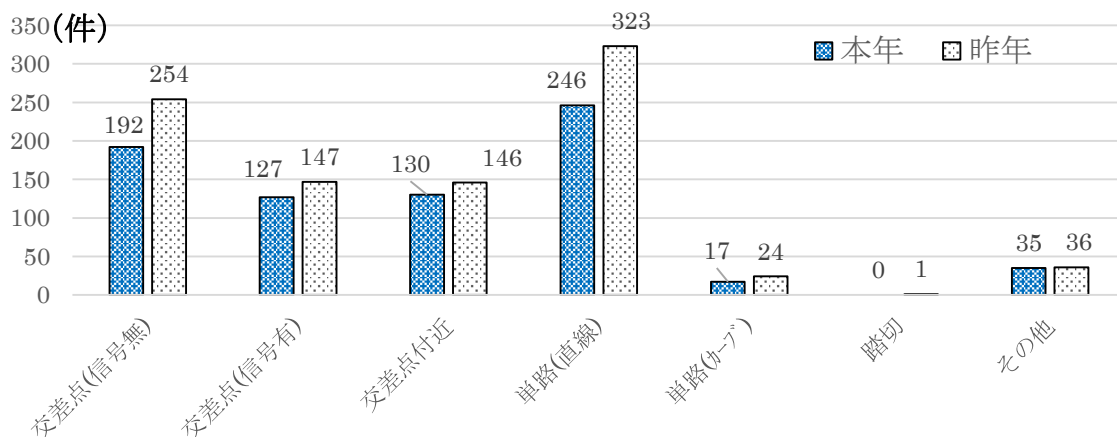
○ 7月末現在の車両単独事故は6件で、昨年比-5件です。

8 時間帯別



○ 時間帯別で最も多いのは、6時から8時までの144件（19.3%、昨年比-23件）でした。次いで多く発生したのは8時から10時までの118件（15.8%同一-30件）と16時から18時までの107件（14.3%同一-33件）でした。6時から10時までの時間帯に262件、35.1%の事故が発生しています。時間的な余裕を持った出勤や出発に心掛けて下さい。

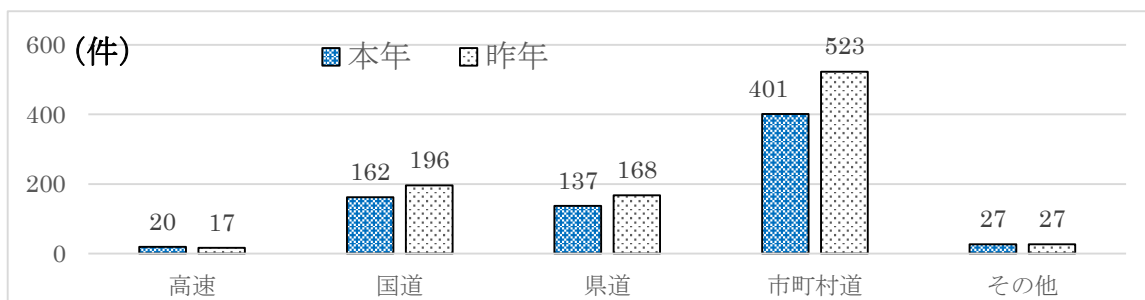
9 道路形状別



○ 道路形状別では、交差点及び交差点付近の事故が合わせて449件（60.1%、昨年比-98件）でした。単路（直線）の事故は246件（32.9%、同一-77件）と双方とも減少しました。

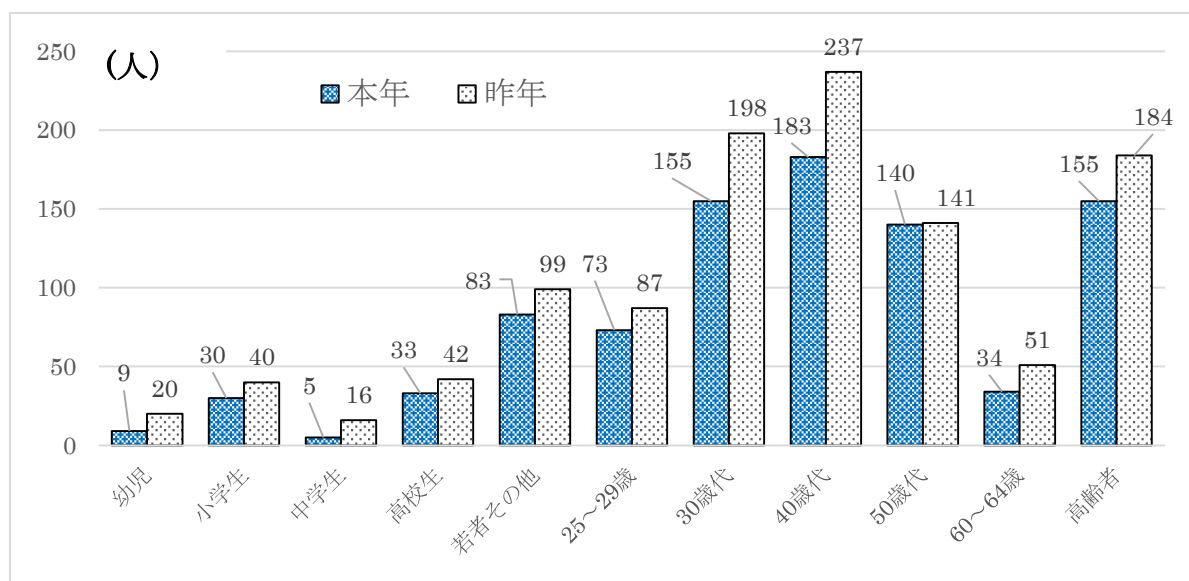
追突事故（事故形態の36.6%）の多くが単路（直線）で発生しているため、道路形状別では単路（直線）が最も多くなっています。

10 道路別



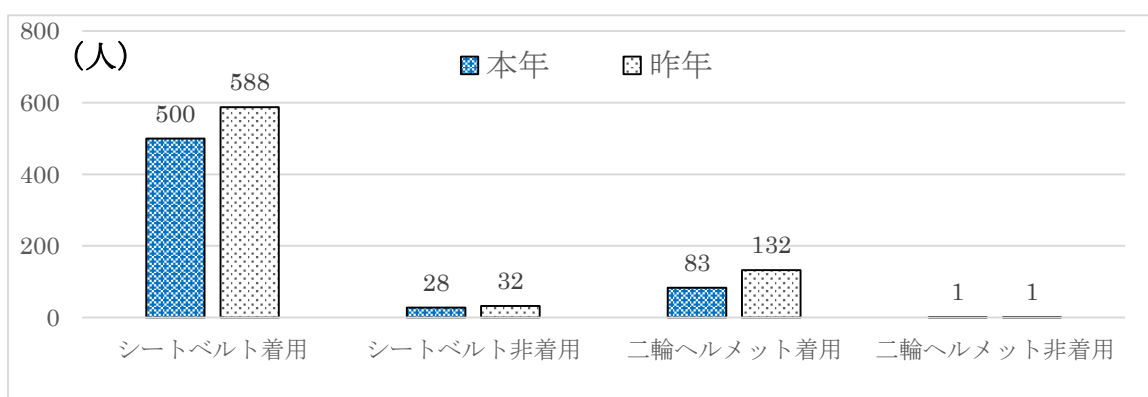
- 道路別では、市町村道が最も多く 401 件 (53.7%、昨年比-122 件)、次いで国道が 162 件 (21.7%、同-34 件)、県道が 137 件 (18.3%、同-31 件) でした。

11 死傷者の年齢層別



- 死傷者の年齢層で多かったのは、40 歳代の 183 人 (20.3%、昨年比-54 人)、次いで 30 歳代の 155 人 (17.2%、昨年比-43 人) となっています。

12 シートベルト・ヘルメット着用状況



- 四輪車の死傷者の内、シートベルトを着用していたのは 500 人 (94.7%)、非着用は 28 人 (5.3%) でした。二輪車の死傷者の内、ヘルメットを着用していたのは 83 人 (98.8%)、非着用は 1 人でした。